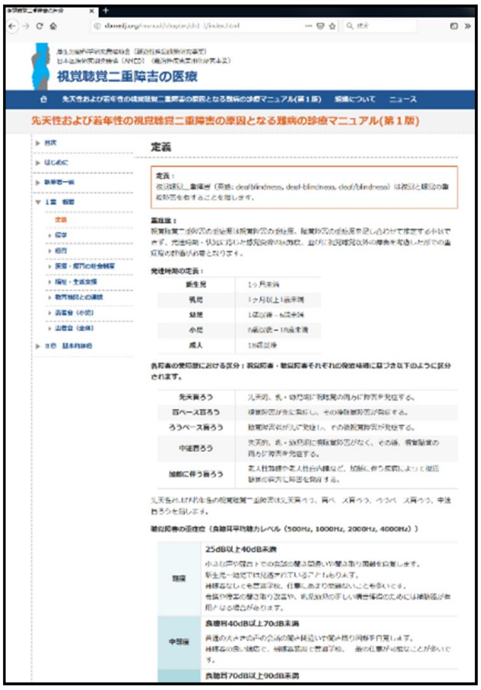
資料 4

視覚聴覚二重障害の医療
先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の原因となる難病の診療マニュアル(第1版)


視覚聴覚二重障害の医療
先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の原因となる難病の診療マニュアル(第1版)
定義

資料 5

HELP & HOPE
視覚聴覚二重障害
に関する
市民公開講座
視力・聴力は日常生活の中におけるコミュニケーションにおいてとても重要な役割を担っています。老化、病気、先天性など様々な原因によりその両方の機能が失われることがあり、そのような状態を「盲ろう」と呼びますが、医療・教育・福祉といったサポート体制はまだまだ充実しているとは言えません。
今回の市民公開講座では盲ろう者に対し積極的に関わっている医療者・教育者・当事者が講演を行います。
参加費 無料
●事前予約は必要ありません
●席数は約100席と限りがあるため、聴講者が席数を超えた場合は立ち見となる可能性があります。あらかじめご了承ください。
平成31年 3/17(日) 午前9時15分開場30分開始 午前11時30分終了(予定)
中目黒GTプラザホール(中目黒駅前)
プログラム(敬称略)
司会進行 国立病院機構東京医療センター 感覚器センター 聴覚平衡覚研究部 聴覚障害研究室 室長 和佐野 浩一郎
第一部 医療から
●9:30~10:00 盲ろうの成人患者と人工内耳手術による聴覚の再獲得
東京大学 名誉教授、国立病院機構東京医療センター 感覚器センター 名誉センター長 加我 君孝
●10:00~10:30 盲ろう者を取り巻く医療の現況 ~眼科医療における視機能低下に対するリハビリテーション~
吉林アイセンター 視能訓練士ロービジョンケア担当 新井 千賀子
●10:30~10:40 盲ろう医療研究の最新動向
国立病院機構東京医療センター 感覚器センター 聴覚平衡覚研究部 部長 松永 達雄
第二部 教育から
●10:40~11:00 盲ろう教育に携わる中で見えてきた現状と課題
国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター 上席総括研究員 星 祐子
第三部 当事者から
●11:00~11:30 目と耳の両方に障害のある人について
東京大学 先端科学技術研究センター バリアフリー分野 教授 福島 智
厚生労働科学研究費 難治性疾患政策研究事業
「先天性および若年性の視覚聴覚二重障害に対する一体的診療体制に関する研究」
http://dbmedj.org
主任研究者:松永達雄(国立病院機構東京医療センター 感覚器センター)
事務局:国立病院機構東京医療センター 感覚器センター 聴覚平衡覚研究部
〒152-8902 東京都目黒区東が丘2−5−1 TEL.03-3411-0111
後 援:日本耳鼻咽喉科学会 東京都地方部会